

「 「 「 「
「 「 「
「 「
「

♪ ジョイコン NEWS ♪

第 1 4 号 2015 年 10 月 15 日

ジョイコンは、2013 年 1 月に大倉山記念館で産声をあげ、来年 1 月公演で 3 周年を迎えます。

ご支援くださった方々に感謝の気持ちを込めて「3 周年記念特別演奏会」を開催します。「今後の予定（先取り情報）」でその概要をお知らせいたします。

それでは、「♪ジョイコン NEWS ♪」（第 1 4 号）をお届け致します。

【もくじ】

- 【1】 次回コンサートのご案内
 - ◆ 第 1 8 回コンサート
- 【2】 今後の予定（先取り情報）
 - ◆ 第 1 9 回コンサート
 - ◆ 第 2 0 回コンサート
- 【3】 ピアノのルーツは『フォルテピアノ』？
- 【4】 コンサートのアンケートから

【1】 次回コンサートのご案内

■■ 第 1 8 回コンサート ■■

- ◇ 2015 年 1 1 月 1 5 日（日曜日）14:00 開演（13:30 受付開始）
- ◇ 出演：平井千絵（フォルテピアノ）
- ◇ プログラム（予定）
 - ◆ ベートーヴェン：バガテル 作品 3 3 - 3 ヘ長調
 - ◆ モーツァルト：ソナタ（ソナチネ）KV 5 4 5 ハ長調
 - ◆ デュセック：マリー・アントワネット王妃の悲劇
 - ◆ ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ第 1 2 番 変イ長調 作品 2 6 「葬送」より
 - ◆ ベートーヴェン：ロンド・ア・カプリッチョ ト長調
『なくした小銭への怒り』作品 1 2 9
 - ◆ ベートーヴェン：ソナタ 作品 2 7 - 2 「月光」 ほか
- ◇ 料金：大人・高校生 2,000 円、中学生以下 1,000 円
- ◇ 会場：大倉山記念館ホール

第 1 8 回ジョイフルコンサートは『フランス革命 その時代のピアノと音楽～フォルテピアノのすべてがわかるトークコンサート～』と題して、お届けします。

演奏者の平井千絵さんからメッセージが届いています。

演奏者からのメッセージ

みなさん、こんにちは！

もうすぐ、フォルテピアノを聴いていただけるのを楽しみにしております！
ベートーヴェンの青年時代に作られたピアノを、現代の名工、タウンマン氏（オランダ）が忠実にコピー（複製）したレプリカを運び込みます！
オリジナルはニュルンベルグの博物館地下倉庫にあり、レプリカは世界でも 2 台しかありません。

ろうそくに照らされたサロンで楽しまれた、この透明で味わい深い音を、
たくさんの方に聴いていただけたらと願っております。

お待ちしております！（平井千絵）

今回のプログラムはフランス革命の頃作られた音楽と、使われていたフォルテピアノの演奏で当時をしのび、タイムスリップできるプログラムです。

☆デュセック/マリー・アントワネット王妃の悲劇
このような曲があるとは全く知りませんでした。
「ベルバラ」世代の私にはとても興味を惹かれる曲です。

*デュセック
デュセックはボヘミア(現チェコスロバキア)生まれのピアニスト、作曲家です。実際「ボヘミアン」ですが、この言葉の通りさすらいの破天荒な一生を送った人です。

父親はオルガニストで教会の楽長に従事していて、早くから父親から音楽教育を受けていました。若い頃の肖像画がとても美少年でそのせいかわかりませんが、ロシアのエカテリーナ2世、フランスのマリー・アントワネットに仕えました。

しかしフランス革命の不穏な気配を感じると、マリー・アントワネットの残ってほしいという懇願にも関わらず、ロンドンへ渡ります。そこでも演奏家として成功し、ハイドンから大絶賛されます。

真面目に演奏家として活動が続ければよかったのかもしれませんが、魔がさしたのかピアノ製造会社を起こします。それが失敗し破産。今度は逃げるようにドイツへ渡ります。しかもその間、パリでは人妻を横恋慕して結婚、ロンドンではその妻を捨て会社設立の協力者の娘と結婚、会社破産後はその家族も捨ててしまいます。

それでも尚ドイツでは見た目の美しさを存分に生かして、ピアニストとして活躍します。「淑女たちが彼の美しい横顔を愛でることができるよう」と最初にピアノを横に置いて演奏したピアニストだそうです。

その後ナポレオンの時代になり、再びパリに戻ります。外務大臣タレーランの夜会の主催者として勤めます。そこで安定した生活を手に入れたためか、デュセックはどんどん太って醜くなってしまいます。残念ながら晩年の肖像画には昔の美青年の面影はまったくありません。指も太くなって鍵盤にも届かなくなってしまい、酒浸りの生活になって51歳で亡くなりました。ソナチネ17番はデュセックの作品です。弾いたことのある方も多いと思います。

*マリー・アントワネット王妃の悲劇
デュセックはマリー・アントワネットのお気に入りの音楽家でしたが、フランス革命の際はロンドンへ逃れ、ロンドンでこの曲を書きました。

「王妃の投獄」「子供との別れ」「死刑の宣告」等と短い曲ですが、いくつかの題がついていて、処刑されるまでを音楽で語るという作品です。最後の方に高音から低音を一気に弾くグリッサンドの部分がありますが、それはギロチンが落ちる音を表しているそうです。

不思議ですが内容を考えると、全体的に暗い曲ではありません。牢獄に入れられ絶望的な状況に置かれても、決して自分を見失わず気高い人であった、とデュセックはマリー・アントワネットを描こうとしたのかと想像します。

他にもお話あり、今回はピアノとフォルテピアノの弾き比べという企画がありますので、どうぞお楽しみになさってください。(A.N)

■予約申し込みはこちら
ホームページ：<http://www.ohkurayama-joycon.com/>
予約専用電話：080-8424-5108

【2】今後の予定(先取り情報)～「予約申し込み」はまだ受付けておりません

■■第19回コンサート（3周年記念特別演奏会）■■

◇2016年1月17日（日曜日）～2部制で開催いたします

第1部 13:00開演（12:30受付開始）

第2部 16:30開演（16:00受付開始）

◇出演：横山奈加子（ヴァイオリン）、横山和加子（ヴァイオリン）、
佐々木京子（ピアノ）

◇プログラム（予定）

・モシュコフスキ：2つのヴァイオリンとピアノのための組曲 Op. 71

・プロコフィエフ：2つのヴァイオリンのためのソナタ Op. 56

・サラサーテ：ナヴァラ 他

（第1部、第2部ともプログラム、料金等は同じです）

◆予約受付開始日：2015年11月16日（月曜日）

■■第20回コンサート■■

◇2016年3月20日（日曜日）

◇出演：鈴木大介（ギター）

【3】ピアノのルーツは『フォルテピアノ』？

チェンバロとピアノは外見、そしてどちらも鍵盤をたたくという点は似ていますが、発音機構が大きく違います。

チェンバロ（ハープシコード〈英〉、チェンバロ〈独〉、クラヴィチェンバロ〈伊〉）は16～18世紀のバロック時代にかけて活躍した楽器です。

長い木片の先についている爪が弦を下から上にひっかいて音を出します。

音色はピアノと全く違っていて音の強弱を出すことができませんでした。

チェンバロの音に強弱をつけるために、1709年、イタリアの楽器製作者クリストフォリが弦をはじくだけの代わりに弦をハンマーでたたいて音を出すしくみを発明します。

鍵を押すと鍵に連動したハンマーが対応する弦をたたき音が出るのです。

これを「クラヴィチェンバロ・コル・ピアノ・エ・フォルテ」といい、

ピアノ（弱音）もフォルテ（強音）も出せるチェンバロという意味になります。

現在のピアノという楽器の名称はこれに由来します。

ピアノの正式名称は「ピアノフォルテ」ですが、1709年のクリストフォリの発明から19世紀初頭までの様式のピアノ（古典ピアノ）を19世紀半ば以降に確立した現代のピアノと区別する必要がある時には『フォルテピアノ』という用語を使っています。

『フォルテピアノ』には、アントン・ワルターから始まって、ベートーヴェンが使用したヨハン・フリッツとコンラート・グラーフ、シューベルトやブラームスが愛用したシュヴァイクホーファーなどがあります。

世界でも貴重な文化遺産といえるアントン・ワルターはタッチが軽快で音色も明るく、モーツァルトが好んで使用したといわれ、ハイドンやベートーヴェンにも高い評価を得た名品です。

黒鍵と白鍵の色が逆になっていること、足ペダルがなくダンパー装置（強音装置）とモデラート装置（弱音装置）の膝レバーが2つ付いているのが特徴です。

モデラート装置のレバーを膝で押し上げるとハープに似たとても美しい音が出せます。ベートーヴェンの「月光」ソナタの1楽章でこのモデラートの真価が発揮されるといわれています。

『フォルテピアノ』は奏者のタッチによって音の強弱をつけることができますが、音の響きは今のピアノとかなり異なり軽快で持続は短いです。

また、音域ごとに異なる音色を持ち、低音域は優雅でかすかにうなるような音色、中音域は人声に近い音色、高音域はきらめくような音色がします。

19世紀半ば以降は現代のピアノが活躍していましたが、20世紀後半になって、古楽復興運動の中で、古いフォルテピアノの修復や古い楽器をモデルとした新しい楽器の製作が行われるようになってきました。
フォルテピアノの再興により、18世紀から19世紀初期の音楽を当時の様式の楽器で演奏するようになり、音楽の解釈にも影響を与えているといわれています。
(のん)

【4】コンサートのアンケートから

★前回のジョイフルコンサート（9月20日公演）、佐藤友紀さんの『トランペット音楽紀行～大倉山記念館に響きわたる魅惑の音色～』は如何でしたか？

アンケートの自由記入欄（ご感想など）には、
『トランペットコンサートは珍しく、楽しかったです。「音楽紀行」というアイデアが良かったです』『曲名ごとの説明も嬉しいことでした。今日のNo1は”ラプソディー・イン・ブルー”』『ピアノとトランペットのみでも素晴らしい音色で切々と胸に響きました』『アンコール曲、やはり日本の曲ですね。心に染み入るいい曲でした』など数多くのメッセージが寄せられました。

「ジョイコン」では、アンケートで頂いた“今後のご希望”などを参考にして、できるだけ初登場の楽器や演奏者を紹介していきます。
今後も演奏者とお客様を繋ぐ“架け橋”になれるよう努めてまいります。

【編集後記】

今年のノーベル医学生理学賞に大村智さん「寄生虫による感染症とマラリアの新治療法の発見」、物理学賞に梶田隆章さん「素粒子のニュートリノに質量があることを証明」が選ばれた。

ノーベル賞は『人類に計り知れない恩恵をもたらした人々に』というアルフレッド・ノーベルの遺言により、毎年授与されている。
こういう分野で、日本人が世界に貢献していることは実に素晴らしい。（お）

※このメールマガジンは、
大倉山ジョイフルコンサートのアンケート等で
「コンサート情報」を希望された方に配信しております。

■演奏会予約申し込み
次回予約申し込みはこちら
ホームページ：<http://www.ohkurayama-joycon.com/>
予約専用電話：080-8424-5108

■バックナンバー
メールマガジンのバックナンバー（PDFファイル）はこちら
ホームページ：<http://www.ohkurayama-joycon.com/>

■配信停止／アドレス変更
メールマガジンの登録、配信停止、アドレス変更はこちら
info@ohkurayama-joycon.com

.....
発行：大倉山ジョイフルコンサート実行委員会
Eメール info@ohkurayama-joycon.com
携帯電話 080-8424-5108
URL <http://www.ohkurayama-joycon.com/>
.....